

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.5-1

まちづくりの目標		第5章	パートナーシップによるまちづくり(パートナーシップ部門)	評価責任者	市民生活部長
基本事項	施策名	第1節	平和で互いを認め合う人権尊重の社会づくり	所管部署名	市民生活部市民参加推進課
	施策の展開	1	平和意識の高揚	関連部署名	こども福祉部地域福祉課
		2	人権に関する理解の促進		教育部生涯学習課
		3	市民相談の充実		
		4	多様性を認め合う社会づくりとジェンダー平等の推進		
関連する個別計画・方針等	吉川市平和都市宣言 吉川市人権施策推進指針 吉川市男女共同参画基本計画			施策の目的	・戦争の悲惨さが理解され、争いのない平和な社会をめざします。 ・社会全体で不当な差別を許さない人権尊重社会をめざします。 ・多様性を認め合い、誰もが自分らしく生きる地域社会をめざします。

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
差別や人権侵害がなく、人権が守られていると感じる市民の割合(市民意識調査)	%	79.4	83.9	81.9	44.6% ★	85.0
		R3	R4	R5	達成度が低い	R8
男女が平等であると感じる市民の割合(市民意識調査)	%	64.9	66.8	65.5	5.9% ★	75.0
		R3	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 25.3%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	啓発事業については、概ね実施できているが、市民の意識を変えていくためにはある程度、継続的な取り組みが必要であることから、現在のところ達成度は低い。	2点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・市民ニーズは市民意識調査などで把握しており、第4次男女共同参画基本計画において「多様性」をキーワードに毎年テーマを設け事業に取り組んでいる。 ・性的少数者の方の生きづらさを軽減するため「パートナーシップ宣誓制度」の周知に努めた。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・平和で互いを認め合う人権尊重の社会づくりのため、十分な事務事業となっている。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 ・あらゆる人権問題に対して正しい理解と認識が深まり、差別を許さないという意識が醸成されてきているが、インターネットへの書き込みなど様々な場面での差別的な行為が問題となっており、今後も引き続き啓発・教育に取り組んでいく。 ・平和意識の高揚については、様々な世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えていく必要がある。 ・男女の固定的役割分担について、一人ひとりの意識を変えるよう、継続的に啓発事業を行いすべての人が暮らしやすいまちづくりを目指していく。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	・「吉川市人権施策推進指針」に基づきあらゆる人権問題に対し、正しい理解と認識が深まり、差別を許さないという人権意識を拡大するため、新たに市民向けの「人権講演会」を実施していく。 ・令和7年度は戦後80年を迎えるため、引き続き若い世代の方々にも参加していただけるよう「平和のつどい」を含めた平和関連事業を実施し、戦争の悲惨さと平和の尊さを市民に伝えていく。 ・男女共同参画社会の実現を目指し、年度ごとにテーマを設定して啓発事業を実施する。
-------	--

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.5-2

まちづくりの目標		第5章	パートナーシップによるまちづくり(パートナーシップ部門)	評価責任者	市民生活部長
基 本 事 項	施策名	第2節	コミュニティ活動と市民参画・協働の推進	所管部署名	市民生活部市民参加推進課
	施策の展開	1	自治会活動の支援	関連部署名	
		2	地域による地域課題解決の推進		
		3	コミュニティ活動・市民活動の支援		
		4	多文化共生の推進	施策の目的	・誰もが人とのつながりを持ち、相互に理解し関わりあう地域社会の実現をめざします。 ・コミュニティ活動等の市民活動が活性化することをめざします。 ・外国人住民を含むすべての市民が暮らしやすい多文化共生社会をめざします。 ・市民や団体、地域、NPO、企業、行政等の多様な主体が、それぞれの資源や知恵を持ち寄り、まちづくりに参画できる環境と機会の充実をめざします。
		5	市民参画の推進		
		6	多様な主体との協働の推進		
関連する個別計画・方針等	市民と行政との協働に関する基本指針				

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
協働事業件数	件	28	12	15	-185.7% ★	35
		R1	R4	R5	達成度が低い	R8
地域コミュニティ活動に参加した市民の割合(市民意識調査)	%	37.4	31.6	30.8	-52.4% ★	50.0
		R2	R4	R5	達成度が低い	R8
多文化共生の取組に対する市民満足度(市民意識調査)	%	64.5	68.2	68.5	800.0% ★★★★	65.0
		R3	R4	R5	達成された	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 187.3%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	4点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	コロナ感染症の影響で各事業が実施できない場合があり、達成度に影響を受けた。	2点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民ニーズは市民意識調査で把握している。また、誰もが人とのつながりを持ち、相互に理解し関わりあう地域社会の実現を目指し、様々な事業を実施した。令和5年度は4年ぶりに「市民まつり」を開催し大変盛況であった。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	事務事業の構成は、施策の目標を達成するために十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題		総合評価
・市民と行政の協働は、市政運営における市民参加の推進につながるものであり、市民と職員に対し、情報提供と意識高揚を図ることは今後も必要である。 ・地域コミュニティの必要性について、効果的な啓発やアプローチを今後も引き続き実施していく。		評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	・これまでの市民参画推進や市民活動団体支援に係る取り組みを引き続き行うとともに、様々な主体がそれぞれの資源や知恵を持ち寄り、まちづくりに参画できる環境と機会の充実を図っていく。 ・多様化、複雑化する地域課題の解決のためには、これまで以上に行政だけでなく、市民、地域、NPO、企業など様々な主体が共に力を合わせまちづくりに取り組み、今後も市民参画や協働を推進する必要がある。
-------	---

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.5-3

まちづくりの目標	第5章	パートナーシップによるまちづくり(パートナーシップ部門)	評価責任者	政策室長	
基本事項	施策名	第3節 市民と行政の情報共有	所管部署名	政策室	
	施策の展開	1	積極的な情報の提供	関連部署名	総務部庶務課
		2	広報の充実		
		3	情報公開制度・個人情報保護制度の適正な運用		
	関連する個別計画・方針等		施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民に的確な情報を伝えることで、市政への理解と関心が高まることをめざします。 市民が本市の情報を必要なときに入手できることをめざします。 本市の保有している個人情報を本人の権利や利益を損なうことのないよう適正に管理します。 	

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
ホームページアクセス数	回	11,906,214	7,024,378	4,657,097	-2,973.6% ★	12,150,000
		R2	R4	R5	達成度が低い	R8
広報よしかわを読んでいる市民の割合(市民意識調査)	%	80.0	80.2	83.0	30.0% ★	90.0
		R3	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ -1,471.8%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	広報紙やホームページはもとより、SNS、メール配信サービス、テレ玉データ放送やラジオをはじめ、様々な手法で市政情報の共有を行っており、施策の進捗状況としてはおおむね順調である。なお、ホームページのアクセス数については、令和5年7月から「Googleアナリティクス」の解析方法が大幅に仕様変更されたことに伴い減少したものである。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民ニーズは市民意識調査において継続的な調査を行っている。より多くの方に市政情報を届けるため、情報発信の手法や高齢や障がい、病気、あるいは他の身体的・認知機能的な特性により制約や偏りがあっても誰もが情報を入手できるよう(アクセシビリティ)に配慮をした。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	事務事業の構成については施策の目的を達成するのに十分な内容であった。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題		総合評価
・これまで各事業において改善等に取り組み、より多くの方に市政情報を共有できるように実施してきた。 ・ホームページやSNS等のインターネットを通じた情報提供手段が普及し、電子版で広報を閲覧する方も増えてきていることから、さらなる情報発信が必要である。		評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	・引き続き、身体的・認知機能的な特性により制約や偏りがあっても誰もが情報を入手できるようアクセシビリティに配慮した情報共有を心掛ける。また、引き続き改善等に取り組み、社会的な背景を鑑み、様々な手法で情報発信を行い、市民満足度の向上を図る。
-------	---

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.5-4

まちづくりの目標		第5章	パートナーシップによるまちづくり(パートナーシップ部門)	評価責任者	総務部長
基本事項	施策名	第4節 人に優しいDXの推進		所管部署名	総務部庶務課
	施策の展開	1	市民生活におけるデジタル化の支援	関連部署名	総務部市民課
		2	行政のデジタル化の推進		
	関連する個別計画・方針等	吉川市DX推進計画		施策の目的	・行政のデジタル化を推進し、市民の利便性の向上と行政の効率化をめざします。 ・誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化社会をめざします。

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
自治体DX推進計画対象の行政手続のオンライン化業務数	件	0	0	27	100.0% ★★★★	27
		R2	R4	R5	達成された	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 100.0%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	4点
評価軸② 施策の進捗状況 <input checked="" type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	・国が定めた「特に国民の利便性向上に資する手続き」について、導入することが出来たため、達成した。	4点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・国が定めた手続きのため直接的に市民ニーズを反映できていないが、全国的な手続き件数等を考慮して選定されたものとなっている。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・基本構想に掲げる将来都市像の実現に向け、各種システムやDXに関する事務事業により構成されており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 ・デジタル化社会の急速な発展に伴う対応が求められているとともに、将来的な人口減少・職員数減少に伴いデジタル技術を活用した業務効率化が求められている。 ・DX推進の基盤として、全職員を対象としたデジタル人材育成が必要である。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 4点 (4点満点中)

今後の展開	・マイナポータルにセット可能な手続きが増加しているため、追加を検討していく。 ・全国的に行政手続きオンライン化の利用件数が少なく、新たなマイナポータルの整備が予定されているため、それに対応していく必要がある。
-------	---

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.5-5

まちづくりの目標		第5章	パートナーシップによるまちづくり(パートナーシップ部門)	評価責任者	市民生活部長
基 本 事 項	施策名	第5節 都市間連携の充実		所管部署名	市民生活部市民参加推進課
	施策の展開	1	国際交流の充実	関連部署名	政策室
		2	国内交流の充実		総務部市民課
		3	広域連携の充実		
	関連する 個別計画 ・方針等				施策の目的

指標名	単位	設定時の値 (年度)	実績値① (年度)	実績値② (年度)	達成度	最終目標値 (年度)
青少年親善訪問団派遣事業参加人数	人	20	-	-	-	20
		R1	R4	R5		R8
国内交流事業の交流人数	人	121	0	129	88.9% ★★★	130
		R1	R4	R5	概ね達成された	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 88.9%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	3点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	コロナ感染症により青少年親善訪問団派遣事業については、実施できなかった。また、国内交流事業については、吉川・室根交流協会が実施する事業が多くなっている。	2点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民ニーズは市民意識調査などで把握を行っており、異なる都市との継続的な交流により、郷土愛の愛着が高まっている。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	事務事業の構成は、施策の目標を達成するのに十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題		総合評価
・今後も多文化共生意識が広がるよう、岩手県一関市やレイクオスエゴ市と、市民を主体とした相互交流事業をはじめ、人づくりや地域の活性化に資する事業を継続して実施していく必要がある。 ・各団体においては、事業運営の負担や役員の高齢化により新たな協力者の育成が課題である。		評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	・友好姉妹都市であるレイクオスエゴ市との交流を推進するとともに、新たな都市との国際交流の可能性について研究していく。 また、国際友好協会など市民が主体となった国際交流活動の支援を行い、国際交流を担う人材の発掘に努める。 ・友好提携を結ぶ岩手県一関市をはじめ、本市と結びつきのある都市との様々な交流事業を推進するとともに、吉川・室根交流協会の活動や市民が主体となった様々な地域との交流を支援していく。
--------------	---

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.5-6

まちづくりの目標		第5章 パートナーシップによるまちづくり(パートナーシップ部門)	評価責任者	政策室長	
基本事項	施策名	第6節 効果的・効率的な行政運営	所管部署名	政策室	
	施策の展開	1	行政運営マネジメントの推進	関連部署名	総務部財政課
		2	行財政改革の推進		会計課
		3	地方分権の推進		総務部市民課
		4	組織体制の整備		
		5	人事管理の充実		
	関連する個別計画・方針等	吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略			施策の目的
よしかわ行財政改革大綱					
吉川市SDGs推進方針					
吉川市定員適正化計画					
		吉川市人材育成基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 行政サービスの安定的な提供と継続的な改善をめざします。 基礎自治体としての自己決定、自己責任により、地域課題を解決することをめざします。 社会情勢等により変化する行政需要に迅速かつ的確に対応できる組織をめざします。 優れた人材の確保とともに、職員研修の充実により職員の能力の向上をめざします。 		

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
事務事業評価の達成度	%	80.2	78.6	79.5	-25.0% ★	83.0
		R1	R4	R5	達成度が低い	R8
市民サービスへの取組に対する市民満足度(市民意識調査)	%	73.3	74.0	74.7	20.9% ★	80.0
		R3	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ -2.1%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	・成果指標については、過去の平均値に対し毎年上昇を目指すものであるが、既に高い水準にあるため達成困難となっている。 ・令和4年度まではコロナの影響により各種事業が実施できなかったことなども影響し、一部事業で達成度が低くなった。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・個別計画等の策定や各種事業の実施に当たっては、吉川市市民参画条例に基づき、市民参画手続きにより意見聴取を行うなど、市民と市との協働によるまちづくりに努めている。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・基本構想に掲げる将来都市像の実現に向け、効果的な行政運営の実施や、効率的な業務執行を図る事務事業により構成されており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題		総合評価
・これまでの継続的改善の取組により、各事業において効率化が図られてきた。 ・少子高齢化や人口減少を背景として、多様化する市民ニーズや新たな行政課題に対する柔軟かつ迅速な対応が求められている。 ・効果的かつ効率的な行政運営を行うため、限られた資源の効率的な活用や、民間手法の研究などを引き続き推進していく必要がある。 ・職員一人ひとりの資質の向上が不可欠となっている。		評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> 第6次吉川市総合振興計画前期基本計画を計画的に推進するため、社会経済情勢等の変化に応じ実施計画の見直しを行っていく。 事務事業の見直しや、継続的な改善により、市民満足度の向上を図る。 市民ニーズの多様化や社会情勢の変化に対応していくため、職員研修を充実することにより職員の資質向上を図るとともに、適正な定員管理に努めていく。
-------	--

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.5-7

まちづくりの目標		第5章	パートナーシップによるまちづくり(パートナーシップ部門)	評価責任者	総務部長
基本事項	施策名	第7節 持続可能な財政運営		所管部署名	総務部財政課
	施策の展開	1	計画的な財政運営	関連部署名	総務部課税課
		2	財源の確保		総務部収納課
		3	公有財産マネジメントの推進		教育部教育総務課
	関連する個別計画・方針等	吉川市公共施設等総合管理計画		施策の目的	・計画的な行政運営を推進するために必要な財源が確保できるよう、継続的かつ安定的な財政運営をめざします。 ・行政サービスの提供に必要となると公有財産の効果的・効率的で適正な管理をめざします。
吉川市公共施設長寿命化計画					

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
実質公債費比率	%	7.5	6.6	6.3	- ★★★★	10.0以下
		R2	R4	R5	達成された	R8
市税の収納率(現年分)	%	99.3	99.3	99.2	-100.0% ★	99.4
		R2	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ -100.0%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	・成果指標について、実質公債費比率は低下しており最終目標値を達成できるめどは立っている。市税の収納率(現年分)は令和5年度に0.1ポイント低下したがおおむね横ばいで推移しており最終目標値の達成も見込める。 ・健全な財政運営が行われている。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・市の行政運営における持続可能な財政運営は潜在的に市民が求めるニーズであり、成果指標や基金残高等から見ても健全な財政運営を求める市民ニーズに応えられている。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・歳入の根幹をなす市税の確保に係る事業や財政運営等に係る事業等で構成されており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題		総合評価
・令和7年度以降、公債費が約24億円で高止まりする見込みであり実質公債費比率の悪化が想定される。 ・エネルギー価格や物価の高騰、賃金上昇等に伴い経常経費の増加への対応も課題である。 ・市税の収納率(現年分)は既に高い水準となっているが、公平・公正な徴収に努める中で収納率の向上を図る。		評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	・国や県の支援制度や、交付税措置のある地方債の有効活用を図る。 ・基金を効果的に活用し、年度間の財政収支に偏りが生じないように努める。 ・適正な課税と公平・公正な徴収に取り組み、収納率の向上に努める。
-------	--

